

## 【普通科】 3年次 【選択】 科目 「音楽表現」 授業のシラバス

### 1 概要

教科名	芸術	科目名	音楽表現	単位数(コマ数)	2(70)
科目の目標	(1) 音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。 (2) 音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。 (3) 音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。				
教科書(出版社)	なし	副教材(出版社)	なし		

### 2 学習の方法

#### (1) 予習について

演奏に親しむは、ピアノの基礎的な演奏技能の習得を目標に授業を進めていきます。事前に扱う楽曲について調べたり、音源を聞いたり、リズムや音階を取ったりしておくとい良いでしょう。

#### (2) 授業について

授業は、全体での楽典やソルフェージュの後、個人練習と個人指導を行っていきます。課題として出される曲と自らの選択により演奏する曲を決め、自分の演奏技能に合わせて進んでいきますから、毎回の授業の目標と振り返りを記入する振り返りカードを丁寧に記入するようにしてください。

#### (3) 復習について

演奏技能は、反復練習によってのみ身につけていきます。授業の中で指摘された部分を中心に、練習を重ねてください。

#### 〈学習アドバイス〉

年に2回の実技試験と2回の発表会を行います。ここでの評価が大きなウエイトを占めるので、日々の授業でのポイントをしっかりと復習し、練習を重ねてください。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
②音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。
④鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

#### (2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料		実技試験	発表会	楽典試験	ソルフェージュ	鑑賞の記録	振り返りカード
	割合							
①音楽への関心・意欲・態度	25%		○	○	◎	○	○	◎
②音楽表現の創意工夫	25%		◎	◎	○			
③音楽表現の技能	25%		◎	◎	○	◎		
④鑑賞の能力	25%				◎		◎	

#### 〈担当者からのメッセージ〉

音楽は、自らの感性を豊かに働かせながら、積極的に表現していかなければなりません。音楽への興味や関心を高め、音楽について考えを深めていける雰囲気や環境づくりが重要です。授業規律や心得を自らしっかりと守り、そのことで指導を受けることのないよう心がけてください。

授業の進度は、自らの課題への取り組み方によって変わります。積極的に進んでいけるよう練習に取り組んでください。

【普通科】 3年次 【選択】科目 「音楽表現」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	1 ソルフェージュと楽典	5 5	(1)楽典の基礎 (2)ソルフェージュ	①②	音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、音程やリズムを正確に取れるようソルフェージュの練習に取り組んでいるか。	
5	2 器楽の基礎（ピアノ）	3 3 3 3	(1)バイエル (2)ツェルニー (3)ブルグミュラー (4)ソナチネ	①②③	ピアノの演奏を通じて、音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽曲全体の構想や表現を工夫して演奏しているか。	鑑賞の記録
6	3 バロック・古典派のピアノ曲	2 2 2	(1)J.S.バッハ (2)モーツァルト (3)ベートーヴェン	①④	演奏における客観性や多様性を理解し、どのような形式の中でどのようなことを表現しようとしているのか聞き取ろうとしているか。	
7	4 実技試験①	1		①②③	課題曲における音楽の諸要素の働きを理解し、自らの思いを工夫し表現しようとしているか。	実技試験
	5 ソルフェージュと楽典	4 3 4 2	(1)楽典の基礎 (2)ソルフェージュ	①②	音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、音程やリズムを正確に取れるようソルフェージュの練習に取り組んでいるか。	
8	6 器楽の基礎（ピアノ連弾）	2 1	(1)ディアベリ (2)その他	①②③	ピアノ連弾を通じて、互いの呼吸を合わせ、アンサンブルする技能を高めようとしているか。また、音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽曲全体の構想や表現を工夫して演奏しているか。	
9	7 楽典筆記試験	1		①②③	音楽の基礎的な楽典を理解しているか。	筆記試験
	8 発表会（前期）	1		①②③	課題曲と自由曲における音楽の諸要素の働きを理解し、自らの思いを工夫し表現しようとしているか。	発表会
後期 10	9 ソルフェージュと楽典	3 3	(1)楽典の基礎 (2)ソルフェージュ	①②	音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに音程やリズムを正確に取れるようソルフェージュの練習に取り組んでいるか。	
11	10 器楽の基礎（ピアノ）	3 3 3	(1)バイエル (2)ツェルニー (3)ブルグミュラー (4)ソナチネ	①②③	ピアノの演奏を通じて、音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽曲全体の構想や表現を工夫して演奏しているか。	
12	11 実技試験②	1		①②③	課題曲における音楽の諸要素の働きを理解し、自らの思いを工夫し表現しようとしているか。	実技試験
1	12 ロマン派のピアノ曲	1 1 1	(1)ショパン (2)シューマン (3)ブラームス	①④	演奏における客観性や多様性を理解し、どのような形式の中でどのようなことを表現しようとしているのか聞き取ろうとしているか。	鑑賞の記録
2	13 ピアノの基礎（連弾）	4	(1)ディアベリ (2)その他	①②③	ピアノ連弾を通じて、互いの呼吸を合わせ、アンサンブルする技能を高めようとしているか。また、音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽曲全体の構想や表現を工夫して演奏しているか。	
3		計 70				

※ 観点別評価①は音楽への関心・意欲・態度、②は音楽表現の創意工夫、③は音楽表現の技能、④は鑑賞の能力を表しています。  
 ※ 授業計画は進度により前後することがあります。